

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成30年3月

樹木などの移植の際に土やたい肥などに、卵や幼体が紛れて侵入したと考えられています。鹿児島県では一般防除種に指定され、県本土各地、屋久島、奄美群島で確認されています。生態系への影響は不明です。繁殖力が強く、おびただしい数で移動したり、ブロック塀や壁をよじ登ったり、家屋の中に侵入したりすることから、強い不快感を与えます。また、防除のための薬剤散布により、他の節足動物への影響が懸念されています。定着している地域から未侵入の地域に、土の付いた植物などを持ち込むと、一緒に運ばれて侵入するおそれがありますので、十分注意しましょう。また、未侵入の地域でヤンバルトサカヤスデを見かけたら、県廃棄物・リサイクル対策課または市町村まで連絡をして下さい。

1 基本情報

分類		
目・科名	オビヤスデ目ヤケヤスデ科	
種名(亜種名)	ヤンバルトサカヤスデ	
学名	<i>Chamberlinius hualienensis</i>	
環境省カテゴリー	その他の総合対策外来種	
県カテゴリー	一般防除種	
由来	国外由来外来種	
侵略的外来種番付表	前頭(本土)	
番付表掲載の理由	知名度の高い外来種	
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的ワースト100)	—	
侵入・定着の状況		
自然分布域	台湾	
県内初報告	初記録年は徳之島 1991年、奄美大島 1992年、鹿児島県本土 1999年、屋久島 2002年	
県内への侵入の経緯	棲息地からの鉢物(観葉植物・花卉類)導入時や樹木などの移植の際に土やたい肥などに、卵、幼体、成体が紛れて侵入	
県内の侵入分布	県本土各地、屋久島、奄美大島、加計呂間島、与路島、請島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島	
全国の侵入分布	埼玉県、神奈川県、静岡県、徳島県、鹿児島県本土各地、八丈島、屋久島、奄美群島、沖縄島	
生態学的特性		
生態	食性は、たい肥、腐葉などを餌にする腐植食。 昼間は直射光を避け遮蔽物(石、木材、板状資材、鉢など)の下部に潜み、夜間に活動する。雨上がりの蒸し暑い日に集団で移動。集団移動時期は本土地域では8月～12月頃、奄美地域では年2回あり、亜成体の移動が5月～6月頃、成体の移動が10月～12月頃に起こる。	
形態	体長25～30mm。体は細く、堅い外骨格である数十個の節に分かれている。前の3節には1節に1対ずつ、それより後ろの節は1節に2対ずつの足がある。体の色は黄褐色で、黒褐色の縞模様がある。	
繁殖形態	交尾期は本土地域では11月～12月、奄美地域では10月～11月で、交尾後約1ヶ月で産卵する。 卵→幼体→亜成体→成体と発育し、寿命は約1年半。	
生息環境	餌となる落ち葉などがある場所や日当たりの悪い湿気がある場所を好む。	
特記事項	—	

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①不快害虫であり、生態系への影響は不明。 ③人に害を及ぼすことはないが、繁殖力が強く、おびただしい数で移動したり、ブロック塀や壁をよじ登ったり、家屋の中に侵入したりすることから、強い不快感を与える。 不快害虫：人間や作物などを害するものではないが、形の気味悪さや大発生などで嫌がられる虫のこと。
県内で特に予想される被害	防除のための薬剤散布により他の土壌性小動物や、歩行性昆虫など他の節足動物への影響が懸念される。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①不快害虫。 ②樹木などの移植の際に土やたい肥などに、卵や幼体が紛れて侵入。
3 対策	
ヤンバルトサカヤスデを見つけたら	未侵入の地域でヤンバルトサカヤスデを見かけたら、県廃棄物・リサイクル対策課または市町村まで連絡をして下さい。 すでに侵入している地域から未侵入の地域に、土の付いた植物などを持ち込むと、一緒に運ばれて侵入するおそれがありますので、十分注意しましょう。
見分け方	ヤンバルトサカヤスデは、在来種のヤケヤスデより大きく、体長25～30mmで黄褐色～茶褐色である。類似種である在来種のヤケヤスデは、体長20mm以下で黒褐色である。
見かけやすい場所・時間	昼間は直射光を避け遮蔽物(石、木材、板状資材、鉢など)の下部に潜み、夜間に活動する。餌となる落ち葉などがある場所や日当たりの悪い湿気がある場所を好む。
防除方法	駆除方法 ヤンバルトサカヤスデの幼体は成体に比べ日光や乾燥、物理刺激に対しても弱いので、幼体の多い時期(本土地域:1月～8月頃、奄美地域:11～6月頃)に、休耕田畑や棲息草地、たい肥の掘り起こしや除草を行いましょう。薬剤散布時期は、地表で活動する時期(本土地域:7月頃～、奄美地域:4月頃～)が効果的です。 侵入防止 ヤスデは高い所から低い所へ移動する傾向があり、表面がツルツルした所は進めません。農業用のアゼシートを活用した移動阻止柵を、山裾などの林地と住宅地との境界に作ることで、侵入を防止することができます。また、紙製のガムテープやステンレス板を家屋の周りに貼ることで侵入を防止できます。また、家屋の周りに薬剤を散布しておくことで侵入を防止できます。 環境整備 餌となる落葉などのある所や、日当たりの悪い湿気のある場所など、ヤンバルトサカヤスデの生息しにくい環境を作ることが重要です。
防除の取組事例	鹿児島県では、平成6年度から、まん延防止のためのリーフレットの作成、配布、ヤスデの効果的な駆除方法の研究、薬剤の研究・開発などを行っている。特に、平成11年度以降は、大学や民間の研究者などを委員とする「ヤンバルトサカヤスデ対策検討委員会」を開催するなど、まん延防止対策の普及啓発に努めている。 出水市、南さつま市、奄美市などの市町村では、ヤンバルトサカヤスデ駆除剤の購入に対する助成金制度を実施している。
その他	鹿児島県のホームページに、ヤンバルトサカヤスデまん延防止リーフレットがありますので、参考にしてください。

参考資料・参考URL	鹿児島県ホームページ ヤンバルトサカヤスデ対策 http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasude/index.html 国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/70490.html Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 鹿児島市 ヤンバルトサカヤスデのまん延防止 http://www.city.kagoshima.lg.jp/kankyo/kankyo/eisei/kurashi/sekat-sukankyo/gaichu/yasude.html 出水市 出水市ヤンバルトサカヤスデ駆除剤購入助成金交付要綱 http://www.city.izumi.kagoshima.jp/reiki_int/reiki_honbun/r334RG00001073.html
-------------------	---